

令和 6 年 8 月 10 日

日中サービス支援型共同生活援助の報告・評価
(令和 6 年度分)

(あて先) 川西市町長

所在地 川西市加茂 3-11-1

法人名 株式会社 ラシエル

代表者名 石野 政道

上記の件について、下記及び別添のとおり提出します。

記

1 報告・評価シートを提出する事業所

事業所番号	事業所名	新規
2823100165	グループホーム ラシエル加茂	

※今年初めて提出する事業所については、新規欄に○をつけてください。

2 本件に関する連絡先

担当者名	与那嶺 勝人
連絡先	所属：RASIEL 加茂 職名：管理者 電話：072-757-7708 メール：gyousei@rasiel.jp (変更となります)

報告・評価シート

【報告日 令和6年 8月 9日】
【評価日 令和6年 12月 17日】
事業所名 グループホームラシエル加茂

項目	【事業所記入欄】										
1 施設概要	事業者名	グループホームラシエル加茂				人員配置	日中				
	指定日	R4年	2月	1日	世話人		生活支援員				
	所在地	川西市加茂 3-11-1					4人	4人			
	定員数（共同生活援助）	20人					（常勤換算後）	（常勤換算後）			
	定員数（短期入所）	1人					5.3人	4.7人			
	共同生活住居数	20戸					看護職員の配置	☐ 有 ☒ 無 人			
	【住居の内訳】		【定員数の内訳】		夜間						
	住居名：1F			男性 10名	世話人（夜間）		世話人（夜間）				
	住居名：2F			女性 10名	4人		1人				
	住居名：短期入所			男性 1名	（常勤換算後）		（常勤換算後）				
	住居名：			名	3人		1人				
	住居名：			名	看護職員の配置		☐ 有 ☒ 無 人				
	事業所の特色・独自の取組		自分らしく生活して頂く。できることを増やせるよう支援させていただく。できることを増やせるよう支援させていただく。定期的にご利用者様アンケートを実施し、個々のご要望について把握し、できることから対応する。								
2 利用者状況 (令和 年 月 日 現在)	障害支援区分	人数				内訳	主な障害種別利用者人数（重複はそれぞれ記入）				
	非該当	人					身体	総 数：	0人		
	区分 1	人						主に日中 GH で過ごす人数：	0人		
	区分 2	人					知的	総 数：	6人		
	区分 3	5人						主に日中 GH で過ごす人数：	2人		
	区分 4	10人					精神	総 数：	14人		
	区分 5	2人						主に日中 GH で過ごす人数：	14人		
	区分 6	3人					難病等	総 数：	人		
	合計	20人						主に日中 GH で過ごす人数：	人		
	年齢構成	・ 60歳以上 6人 ・ 50歳代 5人 ・ 40歳代 6人 ・ 30歳以下 3人									

	障害特性等	医療的ケアの必要な者	0人	強度行動障害のある者	0人
--	-------	------------	----	------------	----

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【地域協議会記入欄】 要望・助言・評価	【事業所記入欄】 質問に対する具体的な内容
3 地域に開かれた運営	利用者に対する指定計画相談支援の提供は別法人が行っているか。	(別法人等による指定計画相談支援の提供状況) 別法人等 (20) 名中 (20) 名	<評価> 外部の相談員が入っている事は、透明性も上がりとても良い事だと思います。	
	実習生やボランティアを受入れているか。	(受入人数) 実習生 名・ボランティア 5 名 (受入事例) ・車いすボランティア ・傾聴ボランティア	<質問> ボランティアの具体的な活動内容を教えてください。 <要望> 前回報告時も共に実績がゼロであったと記憶しており、あくまで待つというスタンスではなく、もう少し積極的かつ具体的なアクションが見えてくれば大変、ありがたいです。 <追加質問> 項目2 利用者状況 内訳から、身体障害者の人数が0人になっているが車いすのボランティアの受け入れで、どのような取り組みをされたのか？	<回答> ・車いすの移乗・移動介助 ・自らお話をなさりたい利用者の対応になりますが、傾聴として普段の生活の不安などをご家族のように聞きお話をさせていただく内容。 <追加質問回答> ご入居者様の【主な障害種別】が「身体」ではないため、内訳勘定には入れておりませんが、現在、車いす利用者は3名常時ご利用いただいております。一時的にADL低下により、プラス1名となっていた時期もございました。車いすボランティアの方には、そのご利用者様の対応を行って頂きました。

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【地域協議会記入欄】 要望・助言・評価	【事業所記入欄】 質問に対する具体的な内容
	地域住民との交流の機会が確保されているか。	(交流機会の事例) 夏休み期間に縁日開催で地域住民来所頂く。その他、近隣公立学校や町内会などへの参加による交流を検討中。	<要望> 来年度の義務化を見据え、地域連携推進会議の構成メンバーに事業所を見学して頂く機会についてもご準備・検討頂きたい(外に出ていくアプローチと同時進行で来所して頂くアプローチにて交流と透明化を図って頂きたい)。	
4 常時の支援体制の確保	日中・土日を含めた常時の支援体制が確保されているか。	(職員の配置状況等) 土日祝 365日・24時間支援体制を整備		
	災害時における、利用者への安全対策(マニュアル作成等)を講じているか。	(安全対策(マニュアル)や避難訓練の実施等の事例) 消防避難訓練を年2回実施	<質問> 非常火災時対応マニュアルは整備されていますか。 <要望> 適切に訓練を実施されていますが、今後は、地域の避難訓練にも参加し、地域との交流を深め、災害時に利用者が安全かつ迅速に避難できる体制を検討いただきたい。	<回答> 「緊急時対応マニュアル」内に火災時の対応に関してのマニュアルが完備されています。
	体調急変等への支援体制が確保されているか。迅速に対応したか。	(緊急時の対応方法(急な体調変化等)) 医療連携体制加算(Ⅶ)取得施設にて、オンコール体制あり	<質問> 緊急時対応マニュアルは作成されていますか。	<回答> マニュアル完備しています。
	利用者の嗜好を考慮した献立を基本とし、それぞれの心身の状	(心身状況等を考慮した食事提供) クックデリ事業者採択し、四季折々のメニューを構成し、栄養バランスの管		

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【地域協議会記入欄】 要望・助言・評価	【事業所記入欄】 質問に対する具体的な内容
	況に応じた食事提供・支援しているか。	理もできている。		
5 短期入所の併設	地域で生活する障害者を積極的に受け入れているか。	(通常受入人数) 男性 1 名		
	緊急・一時的な支援等の受入に対応しているか。	(緊急受入人数) 0 名 (緊急受入事例) なし	<評価> 併設の短期入所は、地域で生活する障がい者の緊急一時的な宿泊の場の提供、施設等からの地域移行の促進及び地域生活の継続等、地域生活支援の中核的な役割を担うことが期待されています。現在重度の障がい者を1名受入れておりますが、今後更なる広がりを期待しています。	
6 支援の実施・質の確保	充実した地域生活を送るため、外出や余暇活動等の支援をしているか。	(外出や余暇活動等の事例) 日々の買い物同行ができない場合は移動支援を利用できないか相談している。人員が充足している日に家電、家具などの買い物同行している。 レクリエーションとしてゲーム、ガーデニング、カラオケ大会、夏祭り、クリスマス会等開催		

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【地域協議会記入欄】 要望・助言・評価	【事業所記入欄】 質問に対する具体的な内容
	支援の質の確保に努めているか。 (研修等)	社内年間研修スケジュールがあり、カリキュラムを設定。月間2～3テーマに対して受講。 受講・レポート提出管理。	<質問> 未記入 レポート提出後、職員へのフィードバックはどのようにされていますか。また、職場内での研修結果の共有はどのようにされていますか。 ・職員の意識で変わった点があれば教えてください。 <要望> 圏域 Co. 可能であれば、社内研修スケジュールやカリキュラム、月間のテーマが、どのような内容の研修を実施したのかが分かる資料の提示を要望致します。	<未記入回答> 法廷研修（虐待・感染症・緊急時・BCP等）と別に、年間研修12項目を受講期間を指定し全職員実施。その解答や質問、ケーススタディーを職員間で回覧確認で集計。 支援の未経験者や新任職員は質の高い支援を目指して研修内容を実践する機会が増加、また中堅職員は、現場で指導教育する立場として従事する意識が増え、責任感も身につくきっかけとなっている。
	体験的利用の要望に対応しているか。	(体験利用人数) 現状 0 人 (体験利用の事例) 入居に空きがある際は、体験利用を案内。 入居前に体験利用を経て本入居となるケースが多い。		初めて施設をご利用される方、検討される方や、入所の必要が認められる方の対応として、随時備えるよう整備。

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【地域協議会記入欄】 要望・助言・評価	【事業所記入欄】 質問に対する具体的な内容
	改善や見直しに取り組んでいるか。	（事業所における課題・助言を求めたいこと） 高品質なサービスの提供を課題に掲げている。 （利用者・家族からの意見・希望）	<質問> 「高品質なサービスの提供が課題」だということですが、具体的にどの部分が課題なのか教えてください。その課題に対して、現在改善に向けて実施していることがありますか。 <要望> 「高品質」が何を指すのか。捉え方や解釈は人によって異なるので、もう少し具体的に挙げて頂く事を要望致します。また、（利用者・家族からの意見・希望）に対しての改善にコメントがない理由の提示を要望致します。	<回答> 強度行動障害や障害区分の高いご入居者様への支援力を高めること、また、全職員の基礎支援力の底上げを図り、よりよい支援の提供を実現できるよう、事業所内研修、カンファレンス、他事業所、医療、ご家族との連協を強化することに努めている。
7 利用者の権利擁護等への配慮について	利用者の金銭管理については、本人同意の上、帳簿等により適切に管理されているか。また、判断能力が著しく低い利用者については、成年後見制度の利用等の支援を行っているか。	（金銭管理の支援方法） 金銭出納帳、金種管理表に都度、記録し週1回本部へ送付し確認するシステムを取っている。 （成年後見制度の利用支援及び利用者数） ・利用支援事例等（☒有 ☐無） ・有の場合の支援内容記載（利用者数5人） 行政への書類作成、返信、金銭管理	<評価> 金銭管理をルール化しており、適正に管理されています。引き続き、適切に帳簿を管理し、保護者や後見人にも定期的に報告し、利用者の権利擁護等への配慮をお願いしたい。	

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【地域協議会記入欄】 要望・助言・評価	【事業所記入欄】 質問に対する具体的な内容
	利用者のプライバシーに配慮した支援となっているか。(個人情報の管理、複数の選択肢の提供、自己決定・家族の合意等)	(利用者に配慮した支援、取組み) 入居時に個人情報使用同意書を取り交わし、説明。生活としては個室利用されているので共同のトイレ 浴室での配慮は行っている。	<要望> 定期的にあセスメントを実施し、利用者の個々の状況に応じた配慮を実施されたい。	
	虐待等の権利侵害の防止、発生時の対応は適切か。	(虐待等に関する研修の受講状況) 全職員受講を必須としている。 (虐待発生時の対応、発生後の対応等) 虐待事案発生時の報告ルールが整備されており、全社 共有方法も仕組み化されている。	<要望> 虐待や身体拘束等に関する研修への参加により職員の意識改革をしていくことは、大変重要です。また、研修した内容を支援に行かせ、質の高いサービス提供をめざしていただきたい。 <評価> 全職員受講必須は、とても評価される事だと思います。	
8 入居/退去 状況について	報告/評価対象年度中において、退去理由の確認及び入居時に適切な判定(流れ)が行われているか。	(報告・評価対象年度の入居者数) 2人 (報告・評価対象年度の退去者数及び事由) ・退去者数 2人 ・主な退去事由:入院 退院後の行き先の調整など、相談支援事業所が主となって、関係各所と連携を取っておくよう施設側も 対応する。		

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【地域協議会記入欄】 要望・助言・評価	【事業所記入欄】 質問に対する具体的な内容
9 他の日中活動サービスの利用	GH内でどのような日中サービスを提供しているか。	(日中をGH内で過ごす利用者に対する支援・サービスの提供) ・嗜好品等の買い物同行 ・レクリエーション ゲーム、カラオケ、クイズ、作品作り・催し物 誕生会、クリスマス会、夏祭り	<要望> 現在、16名の利用者が日中も事業所内で生活しており、買い物の同行や、ゲームなどのレクリエーションを取り組んでいるところですが、利用者の自立した日常生活を営むことができるよう、調理、洗濯その他の家事を共同で行うように努めてください。	
	他の日中活動サービスの利用を妨げていないか。	(他の日中活動の利用状況) 他の日中活動サービスを利用(20)名中(4)名 (主な他の日中活動サービス種別・利用先) 生活介護 就労支援B型		
10 利用者の健康管理	日々の利用者の健康管理をしっかりと行っているか。	(医師や看護師の訪問有無及び頻度) ・医療連携体制(Ⅶ)による、施設への訪問看護 ・個別訪問看護契約により2回-3回 (健康チェック方法について) 全員、毎朝検温 必要あれば1日3回血圧測定	<評価> 訪問看護と連携した健康管理を実施しているので、利用者、家族等の安心感につながります。 <要望> 個別訪問看護契約が2~3回とあるが、これは週なのか月なのかが分からないので、以後は単位を明記して頂くことを要望いたします。それと、御社HPでは「同グループの訪	

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【地域協議会記入欄】 要望・助言・評価	【事業所記入欄】 質問に対する具体的な内容
			問看護と連携」との記載があるが、本当に必要な方に対して必要な「看護（≠支援）」が入っているのかの実態が見える情報提供が可能であればご提示頂きたい。（看護記録等）	
11 他事業所との連携	相談支援事業者や他のサービス事業所との連携を行っているか。	（具体的な連携状況の事例について） 強度行動障害入所者の支援で、相談支援事業所・移動支援・生活介護事業所と連携を図り生活頂いている。	＜質問＞ 未記入 報告・評価シートでは、強度行動障害のある方の利用は0になっていましたが、それが記載ミスでしょうか？	＜未記入回答＞ 記載誤りです。 重度障害者支援対象者は2名となります。
12 その他	＜独自に定める項目を記載＞	持病のある方の通院同行に関してご家族様が対応不可の場合はできる限り対応。朝食、希望者パン食あり	＜評価＞ 利用者のニーズにあわせた対応が行われています。	
13（2回目以降）協議会からの要望、助言への対応	要望や助言に対応しているか。	（要望・助言の内容及びその対応） すべての障害者が「その人らしい」を実現し、安心して生活ができる居場所がまだまだ少ない現実に対し、質の高いサービスの提供と法令遵守を絶対ルールとして地域社会に貢献できるように取り組んでいきたいと考えております。 その中で、協議会や関係各所への協力と信頼関係の構築に努めてまいります	＜質問＞ 共同生活援助における支援の質の確保のため、令和6年度の報酬改定において、「地域との連携等」が新設され、各事業所に「地域連携推進会議」の設置を令和6年度から努力義務化、令和7年度から義務化されることとなっています。地域の関係者を含む外部の目を定期的に入れる取組を行うことで、支援の質の確保をめざしていくこととしています。貴法人の今後の対応をお聞かせください。 ＜追加質問＞	＜回答＞ ・加茂ボランティア ・加茂小学校 PAT ・加茂障害者グループなどとの連携や加盟の準備を進めています。 各種団体とのつながりを強め、地域社会に役立てられる存在を目指します。 ＜追加質問回答＞

項目	評価の観点	【事業所記入欄】 具体的な内容	【地域協議会記入欄】 要望・助言・評価	【事業所記入欄】 質問に対する具体的な内容
			地域連携推進会議での取り組み状況について問うており返答を取り違えているのではないかと 思いましたので、改めて回答をお願いします。	「地域との連携」として、施設地域の各種コミュニティや行政・社協等、地域連携推進会議への参加や自治会等への参加を会社としても推進している為、参加し、地域社会で求められていること、求めることの情報交換を活発にし、求められる施設をめざす。

現在入居中 20 名の支給決定権者

兵庫県

・川西市 5 ・芦屋市 1 ・宝塚市 4 ・神戸市 2 ・伊丹市 4 ・

大阪府

・大阪市淀川区 1 ・高槻市 1

福井県

・小浜市 1

香川県

・四国中央市 1

<追加質問・回答>

Q1: 区分に対し訪問看護がたくさん入っているが、介入の経過と必要性について教えてほしい。また、どのような対応をしてもらっているのか？

A1: 訪問看護の介入理由と経過状況

- ・施設として「医療連携体制」を整備している為
- ・精神障害のご入居者様が、定期的に医療機関受診の外出が固定できないこともあり、施設での訪問看護対応で健康管理の一つとして実施。

- ・原則ご入居者様のご希望があつてのご利用であり、ご家族様の不安払しょくにもつながっているようで要望が高いため。
- ・健康管理やA D Lの変化、医師との連携・服薬の助言等、きめ細やかなサポートが得られている。また、体調変化や急変時のオンコール対応で、初動アドバイスが得られる点で、施設職員のオペレーションの安定と心理的不安の払しょくも実現できている。

Q2: 開設から2年半ほど経過しているが、ホームから自立した人数は？また、自立するために取り組む支援やプロセスは？

A2: 自立者0人。区分2・1など変更に伴い、介護包括型や自宅療養への転居はあるものの、「自立」となった報告は受けていない。全てのご入居者様に対して「自立」を目指した支援を前提としているが、ご家族・相談支援員・医療機関・行政と連携を図り、包括的に自立を目指した支援を行っている。